

AIと伝統工芸職人の共創で「江戸小紋」に新柄誕生

文京学院大学と高島屋による産学連携プロジェクトで 2 柄発表

図案家減少という業界課題に、大学発 AI による「職人知」の分析で応える
2026 年 10 月 7 日より 高島屋 5 店舗にて発売開始

文京学院大学（学長：福井勉）は、株式会社高島屋（代表取締役社長：村田善郎）との産学連携「ヒト×AI の共生による地域産業活性化プロジェクト」（通称：令和小紋プロジェクト）の成果として、新作江戸小紋 2 柄「オーケストラ」「葡萄と栗鼠（ぶどうとりす）」を開発し、2026 年 10 月 7 日（水）より高島屋の各店舗（5 店舗）、ジェイアール名古屋タカシマヤにて発売することをお知らせいたします。

江戸小紋は、遠目には無地に見えるほど細かな模様を型染めで表現する、日本を代表する伝統的な染色技法です。なかでも複数のモチーフを巧みに配置する「けれんもの」と呼ばれる図案は高度な技術を必要とし、近年は図案家の減少により新作づくりが難しくなっています。本プロジェクトでは、本学が開発した AI を図案制作の支援技術として活用し、伝統工芸士の型紙職人、染色職人が監修・制作を担うことで、新たな江戸小紋の創作に挑戦しました。約 1 年にわたる試作と検証を経て、商品化が実現しました。



新柄が誕生。令和生まれの江戸小紋。

■本プロジェクトについて

本学経営学部の経営史研究ゼミ（担当教員：川越仁恵教授）は、江戸小紋の古い作例の分析を通じて 2022 年 4 月に図案制作理論を体系化しました。2025 年 4 月からは、AI を活用した「江戸小紋デザイン支援アプリケーション」の開発プロジェクトを、同学部のデータサイエンス研究ゼミ（担当教員：吉田啓佑助教）が受託。システム・アプリ構築を担う吉田研究室と、デザイン理論・歴史・ブランディングを担う川越研究室が強力なタッグを組み、伝統工芸産業活性化プロジェクトを加速させてきました。同年 9 月には株式会社高島屋と産学包括連携協定を締結し、「ヒト×AI の共生による地域産業活性化プロジェクト」（令和小紋プロジェクト）を開始しました。今回、本プロジェクトの取り組みの成果として、江戸小紋の新柄 2 点が商品化に至りました。

■江戸小紋の現状について

江戸時代からつづく江戸小紋は、型紙を用いて精緻な模様を染めあげる伝統工芸です。なかでも複数のモチーフをランダムに配置する「けれんもの」と呼ばれる柄は、高度な図案制作技が必要とされます。しかし現在、着物市場の縮小や職人の高齢化により、新たな図案を生み出せる熟練の図案家は大幅に減少しています。制作工程を支える図案制作、型紙制作、染色の分業体制も維持が難しくなり、呉服市場において、特に「けれんもの」と呼ばれるデザイン様式は新作がほとんど見られなくなっています。こうした状況をうけ

て、本プロジェクトは、消滅の危機に直面する江戸小紋の図案制作の知見を未来へつなぐことを目的に、AIと職人が協働する新しいものづくりの実証としてスタートしました。

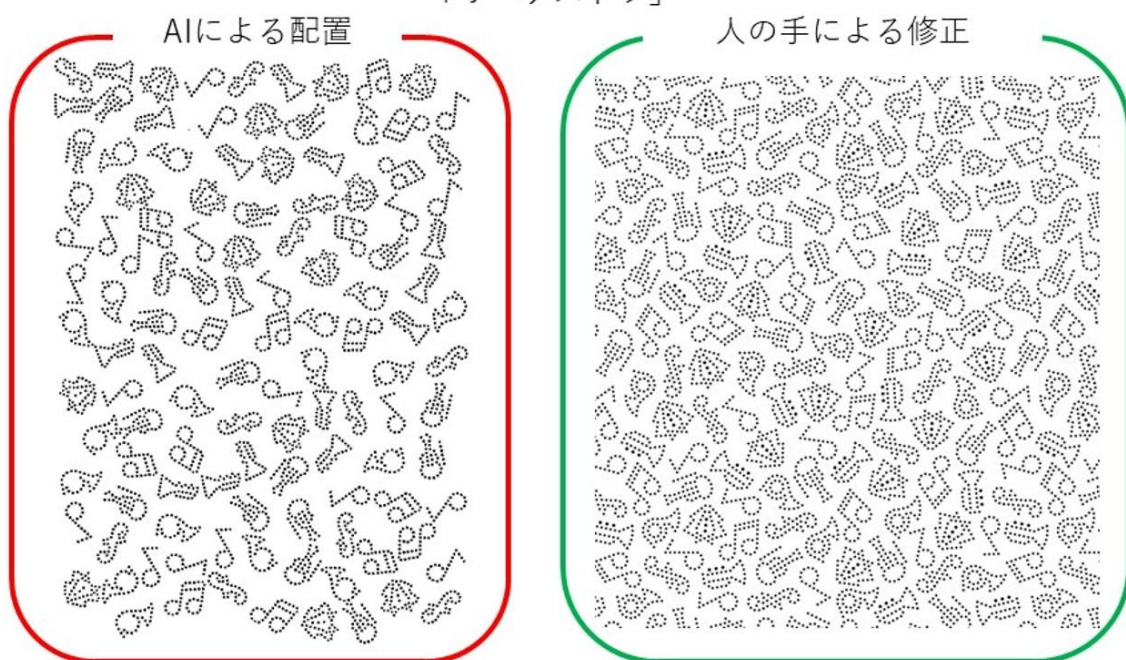
■AI が継承するのは「職人技」ではなく「職人知」

本学では、過去の江戸小紋作品や型紙を分析し、これまで言語化されてこなかった、長年職人の経験によって培われてきた図案構成の考え方を研究してきました。その成果として、新たなモチーフを入力すると、伝統的な美意識に沿った配置案を生成する独自のAIシステムを開発しました。

しかし、AIが生成した図案がそのまま製品になるわけではありません。モチーフの向きや配置のバランス、染め上がり時の見え方など、最終的な判断には熟練職人の経験と感性が欠かせません。AIが図案作りを支援し、人が監修・調整することで、一つの作品として完成します。

伝統工芸産業においては、断絶しかけている分業体制をどう維持するかが大きな課題となっています。そうしたなか、本プロジェクトはAIの活用も重要な選択肢のひとつととらえ、「AIが職人に代わる」のではなく、「AIが職人不足を補うもの」と位置づけ、伝統の継承と産業の未来をつなぐ新たな共創モデルとして取り組んでいます。

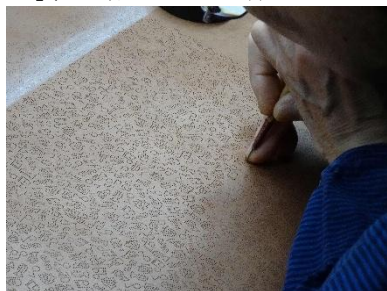
「オーケストラ」



■約1年の試行錯誤を経て誕生した「新柄」

今回誕生した新柄は、「オーケストラ」と「葡萄と栗鼠（ぶどうとりす）」の2柄です。高島屋の呉服部バイヤーや若手社員、本学学生によるアイデアから生まれました。その後、AIによる図案生成（AIによる点描化と、そのモチーフをランダムに配置する作業）、型紙制作、染色工程を経て、約1年をかけて商品化が実現しました。

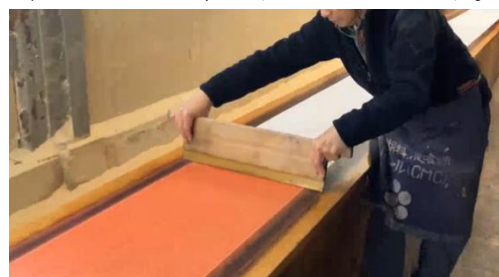
型紙制作には、伊勢型紙の伝統技法である「錐彫り」を採用しています。錐彫りは、専用の錐を使って型紙に極小の穴を開けながら模様を表現する技法です。さらに、型紙を用いて模様を生地に写し取る「型付け」、色糊を生地全体に均一に塗り広げる「しごき染め」の工程を経て、一点一点丁寧に染め上げています。



「錐彫り」



「型付け」



「しごき染め」

■商品概要

商品名	カラーバリエーション	販売価格（税込）
江戸小紋 「オーケストラ」 （写真左上）	橡(つるばみ)/深緋(こきひ)、樺茶(かばちゃ)/黄支子(きくちなし)、曙(あけぼの)、水浅葱(みずあさぎ)、若竹(わかたけ)	330,000 円から
江戸小紋 「葡萄と栗鼠」 （写真左下）	樺茶(かばちゃ)/黄支子(きくちなし)、滅紫(けしむらさき)、曙(あけぼの)、水浅葱(みずあさぎ)、若竹(わかたけ)	330,000 円から

＊両商品とも反物販売(表地・八掛付)。お仕立ての上 2027 年 1 月以降のお渡し。

＊別染め対応可(承り日から約 3 か月後のお渡し)。

一部商品は、表裏で異なる色に染め上げたバイカラー仕様。単衣仕立ての際には袖口や裾からのぞく配色も楽しめます。それぞれのカラー名は、日本の伝統色（日本古来の色名）から付けています。



■高島屋各店舗での巡回販売スケジュール ※日本橋店を皮切りに、各店で巡回販売

会期	会場
10 月 7 日（水）～13 日（火）	日本橋店 本館 7 階 呉服サロン
10 月 21 日（水）～27 日（火）	京都店 5 階 呉服売場
11 月 4 日（水）～10 日（火）	大阪店 6 階 きもの売場
12 月 2 日（水）～8 日（火）	横浜店 7 階 特選呉服
12 月 16 日（水）～22 日（火）	新宿店 11 階 呉服サロン

＊11 月 18 日（水）～24 日（火） ジェイアール名古屋店タカシマヤ 11 階呉服売場